



政治は毎日が真剣勝負です
対応・対策は迅速に最後まで責任を持って
やり抜きます！

萱島よしひこのプロフィール

生年月日：昭和30年（1955年）5月26日生まれ

経歴：昭和49年3月 大分県立国東高校卒業
昭和53年3月 國學院大學法学部卒業
昭和53年4月 国東町役場臨時職員
昭和54年4月 国東町役場入庁
平成27年3月 国東市役所退職
平成30年4月～現在 国東市議会議員（2期目）

主な職歴：国東市職員 安岐地域産業課長（2年）・秘書（広報）課長（5年）等
酒造会社顧問（平成27年4月～現在）
国東市議会副議長（令和6年5月～現在）

その他：昭和53年～ 国東町消防団員（13年間）
昭和57年度 国東町連合青年団長
昭和62年 国東町社会教育主事（九州大学1978号）
平成12年度 旭日小学校PTA会長 等

豊かな行政経験 幅広い人脈 卓越した行動力。

国東市（町）職員 36 年・国東市議会議員 8 年

【萱島よしひこの役職】

- ・市議会副議長（令和6年5月～現在）
- ・総務常任委員長（令和4年5月～令和6年4月）
- ・自衛官募集相談員
- ・防災士（登録 189573 号）
- ・浄土宗 池中山蓮華寺（武蔵町） 総代長
- ・國學院大學院友（同窓）会大分県支部 支部長
- ・国東町ゲートボール協会 会長



年4～5回、衆議院議員会館を訪ね、大学同窓生の大西代議士（自民党）の秘書官と政策立案や情報交換を行っています。（令和7年10月3日）



出身大学の後藤総合企画部長（手前）、建部院友会本部総務課長（奥）と観光産業と大学との連携等について打合せをしています。（令和7年10月3日）



「知事を囲む自治運営懇話会」で佐藤樹一郎大分県知事と。（令和7年1月20日 レンブラントホテル）



令和7年8月の台風10号被害の現地確認調査。農地や市道、河川等を中心に被災状況を確認しました。写真は安岐町両子寺の被災現場。（令和7年9月2日）



かやしま
萱島よしひこ

国東の明日を拓く！！

討議資料

※このどうは、萱島祥彦の政治活動の政策どうです。

かやしま

萱島よしひこ 後援会

〒873-0513 大分県国東市国東町綱井591番地1
TEL・FAX：0978-72-3330

（頒布責任者） 後援会長 幡東 孝則（国東町綱井1584番地）
後援会副会長 高橋 豊則（国東町綱井1953番地1）
// 光永 和男（国東町見地275番地）
// 萱嶋 初男（武蔵町古市634番地）
（会計責任者） 税理士 岡野 尚幸（国東町浜崎1000番地）

※後援会では、只今後援会員を募集しています。

ホームページ yoshihiko-k.com

かやしま
萱島 よしひこ 公式

検索





子どもや孫の世代へつなぐ

みらい ひら

国東の明日を拓く5つの政治活動に力を注ぎます！

基本信条

① 市民に信用され、頼られる政治家、何よりも人にやさしい政治をめざします。

- ① まず第一に市民生活で困ったことや問題点の相談を受けた時は、直ちに現場にかけつけ共に解決策を考え、行動します。
- ② 子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉、地域医療の充実を全力でサポートします。
- ③ 自然を守り、文化・文化財を保護し、社会教育主事の経験を活かし、生涯学習・文化活動や社会体育の普及に協力し、人をはぐくみ地域社会を活性化する活動を推進します。

② 人口減少対策と、地域の活力を再生するための政治

人口減少対策は、喫緊の行政課題です。課題解決のためには、市内の企業・事業所や個人経営の商店や第1次産業従事者等の経営が安定する政策を講じることが必要不可欠です。そこで今後は、以下の政策に力を注ぎます。

- 国東市の基幹産業である農林水産業の振興。加えて個人経営・企業経営を問わず現場に出向き、地場産業の再生や、商業の活性化を支援します。
- 労働力確保が急務です。シルバー世代の雇用創出や、外国人材の活用等についても、国や県はもとより企業等からの情報収集に努め、行政に対する積極的な政策提言を行います。
- 農業や福祉分野、高校・大学等と観光産業との連携を推進し、出身大学・旅行会社等との人脈を活かし、観光産業の振興と交流人口の増加をサポートします。



県北6市議長会懇話会
(令和8年1月16日)

③ 安心を創る政治

- 私は議員になって、防災士の資格を取得しました。市民の皆様生命・財産を守り、安全な地域社会を築くことが行政の大きな責務であると考え、2期目は「防災対策室」の設置を強く働きかけてきましたが「危機管理室」が設置されました。今後は、各行政区ごとの減災・防災対策の構築をサポートしていきます。
- 災害危険箇所の環境改善は待ったなしです。防災対策工事を含めた安全・安心の生活環境整備を推進します。
- 特に公共交通網の脆弱な国東市では、買物弱者の解消が急務です。地域の助け合いや地域ごとの連携強化の推進はもとより、自治体の責務を明確にし、市民の生活の利便性向上に努めます。年齢を重ねても、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進します。

④ 次世代へ、健全な国東市を託すための政治

- 財政規律を守り健全な財政運営が行われているか、絶えずチェックします。そして、年4回の定例議会ごとに提出された当所予算や補正予算を中心に議会の概要を自身のホームページで市民の皆様に公開します。
- 国東市の豊かな自然環境を保全するために里山・林道の整備や松くい虫防除対策、農地の維持・管理活動を積極的にサポートします。
- 教育は未来への投資です。子どもたちは国東市の宝物です。学校教育や社会教育の更なる充実をサポートします。

⑤ 暮らしに寄り添う政治で地域幸福度(Well-Being)の向上

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を後押し
市民の手続き負担を減らし、暮らしがもっと便利になるDXを行政に働きかけます。成果が見える指標の設定を求め、進み具合を議会ですぐに確認します。
- 安心の地域づくりを後押し
孤立を防ぎ、困った時に気軽に頼れる、つながりが広がるよう行政に働きかけます。行政・地域・団体・事業者が無理なく協力を続けられる仕組みづくりを提案し、議会で点検を重ねて、相談のしやすさとスピード感のある支援につなげます。あわせて、災害への備えと連携強化も求め、ふだんの安心を、いざという時の安心へとつなげます。